

令和6年度永平寺町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

永平寺町においては、水稻主体の農業生産が従来より展開されており、転作作物においては小麦を基幹作物として二毛作でそばの栽培・高収益作物として玉葱・ニンニク・スイートコーン等の作物を推奨している。しかしながら兼業農家比率が高く又、従事者の高齢化が進んでおり耕作放棄地（自己保全）の増加が懸念される現状である。

担い手育成を図るとともに後継者育成が課題となっている。更に鳥獣害被害や天候不順による生産意欲の衰退もあり農業所得向上が望めない中で、高収益作物の生産に取り組み所得向上に繋げていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

町の推奨園芸品目の作付拡大を図って機械化による労働力の削減等を継続しているが従事者の高齢化・担い手の減少が目立つため、より良い生産技術の向上と生産意欲を上げるために有利販売に向けた販売戦略・ブランド化の一層の向上を図るよう関係機関と連携して有利販売に対応する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

中山間を多く抱える地域が多く転作作物の栽培に不利な条件があり、自己保全等の対応水田が多数発生しているため現状の状況を点検し畑地化及び樹園に誘導出来る地域の畑地化を推進する。

排水性の良い圃場を中心にブロックローテーションの維持・拡大を推進するとともに、排水不良田については排水性改善策の検討や、非主食米での水田の有効利用に向け取り組んでいく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産数量目安に沿った作付面積の確保

(2) 備蓄米

需要に応じた生産量を確保する

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

畜産農家と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める

イ 米粉用米

需要関連業者と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める

ウ 新市場開拓用米

需要者と出荷・販売契約を締結し新市場開拓米へ転換する取組を支援する

エ WCS 用稲

畜産農家と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める

オ 加工用米

需要に応じた生産量を確保する

(4) 麦、大豆、飼料作物

小麦を基本作物とし、大豆については二毛作として作付推奨を継続する

(5) そば、なたね

水田活用のため、小麦跡・玉葱跡・ニンニク跡作付推奨を継続する

(6) 地力増進作物

農業生産の持続的な維持向上に向けて土作りに取組む為、栽培を推奨する

(7) 高収益作物

玉葱・ニンニク・スイートコーン等を地域振興作物とし作付拡大を推進し、地域のブランド化を目指していく

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	557.2	0.0	554.5	0.0	550.4	0.0
備蓄米	12.2	0.0	15.9	0.0	15.9	0.0
飼料用米	4.0	0.0	7.4	0.0	4.3	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	15.0	0.0	32.4	0.0	32.4	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	1.1	0.0	4.1	0.0	4.1	0.0
麦	131.9	0.0	131.7	0.0	134.6	0.0
大豆	1.9	1.0	2.3	1.1	2.4	1.3
飼料作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	71.0	65.5	71.0	65.6	71.1	65.7
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.2	0.0	0.4	0.0	0.6	0.0
高収益作物	19.3	0.6	25.7	2.4	25.7	2.2
・野菜	19.1	0.6	24.8	2.4	25.0	2.2
・花き・花木	0.1	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
・果樹	0.1	0.0	0.5	0.0	0.3	0.0
・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・〇〇	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	ニンニク スイートコーン	地域振興作物助成	作付面積	（５年度） ８． １	（８年度） ８． ９
2	玉葱 人参	地域特産品目助成	作付面積	（５年度） ７． ６	（８年度） ７． ６

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:福井県

協議会名:永平寺町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	地域振興作物助成	1	16,000	ニンニク・スイートコーン	作付面積に応じて支援
2	地域特産品目助成	1	6,000	玉葱・人参	作付面積に応じて支援
2	地域特産品目助成(二毛作)	2	6,000	玉葱・人参	作付面積に応じて支援
			※単価は実際の取組状況によって変動する。		

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。